

読書のすすめ

土岐市図書館 ☎1253

花を飾る



新緑が映え、陽気も穏やかな季節となりました。野の花を愛でるにも良い時季ですが、暮らしの中に花を取り入れ、彩りと心の癒しを加えるのもまた魅力的です。

DAIICHI ENGINEE『フラワーアレンジアイデアBOOK』。花を飾るなら花瓶を用意しなくちゃってことありますよね。本書には家にあるコップやお皿、コートだつて素敵な花器に早変わりできるアイデアが詰まっています。飾った花を長く綺麗に楽しむための、ひと手間にも注目です。

宇田川佳子『ちいさな花言葉・花図鑑』。土岐市の花であり明智家の家紋にもなっているキキョウの花言葉は「変わらぬ愛」です。花を選ぶ際には色形や雰囲気だけでなく意味も持たせたいくなるもの。鮮やかな写真と共に数多くの花が紹介された本書は、花言葉を五十音、開花期ごとに検索でき、便利な一冊です。

平井かずみ『花はそつと、日常に。』。フラワースタイルリストの著者が、暮らしに寄り添う「日常花」の楽しみ方を伝える一冊。春夏秋冬のしつらい、器の選び方、置く場所などこだわりたっぷりの思ひきや、特別なことは何もないと著者は言います。美しさ、可愛さは花まかせで大丈夫なのです。

私の一冊

童門冬二作

「情」の管理・「知」の管理



市史料整理室
瀬瀬 茂さん

戦国時代の武将から近代までのリーダー像を通し、組織と人を考えさせられる一冊です。現在、大河ドラマ「麒麟がくる」で戦国の世の群像が描かれています。今までの日本の歴史は、「勝者の歴史」が中心でしたが、今回の大河ドラマは、「敗者の歴史」からの視点で取り扱っていることが興味深いところです。

天下統一の過程で信長や光秀、秀吉など多くの武将が登場しますが、彼らはどのように組織を高め、天下統一に向かったのでしょうか。これまでのイメージで考えれば、信長は「知」の管理者、秀吉は「情」の管理者とみられています。光秀はどうでしょうか。本書では、信長や、他の武将の今までのイメージと違う人物像を浮き彫りにしています。

筆者は、信長をはじめ多くのリーダーの人物像を「情」と「知」二つの管理から見つめ、その上で「一体感」の管理を歴史から学び、読者に伝えてくれています。

「情」と「知」、二つの管理から歴史と現在の社会を見てみませんか。

6月の休館日

■休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間
火～金曜日
午前10時～午後7時
土・日曜日、祝日
午前10時～午後5時

お知らせ

1階エレベーター横にて、大河ドラマ『麒麟がくる』で注目を集めている、美濃の国ゆかりの武将、「明智光秀」に関する本の展示をしています。光秀に関する新旧の研究書や郷土資料、光秀を中心に取り扱った小説のほか、光秀と関わり深い美濃の歴史人物の書籍や、ゆかりの地「妻木」を巡るマップなども展示・配布しています。